

平成 31 年度(令和元年度) 事業計画

平成 31 年 4 月 1 日から
令和 2 年 3 月 31 日まで

1 研究助成事業

平成 31 年度(令和元年度)の研究助成事業の助成の対象とする課題は、「食肉に関する研究又は調査(品質・加工、食品的価値、食品安全、遺伝育種、繁殖、動物衛生、家畜飼養・飼料など)」について、応募のあった研究又は調査申請書に基づき、専門委員会において選考を行い、理事会において助成の対象者を決定し、助成金の交付を行って研究助成の成果の報告を求めます。研究助成費は 105 百万円とします。

2 伊藤記念財団賞授賞等事業

(1) 伊藤記念財団賞授賞事業

食肉に関する学術上の研究に優れた業績が認められ、将来の活躍が期待される研究者に伊藤記念財団賞を授与します。本年度は、平成 30 年度に募集し、第 4 号議案で決議される者に第 4 回伊藤記念財団賞授賞者として賞状及び研究奨励金を授与します。受賞者の業績概要(受賞理由)は、「平成 30 年度食肉に関する助成研究成果報告書 Vol.37」に掲載します。

また、第 5 回伊藤記念財団賞の授賞者について募集を行い、選考委員会において選考を行い、理事会において授賞者を決定します。

(2) 学会等事業助成事業

食肉に関して、研究水準が十分高く、かつ、経理的基礎と会員の広がりがあると認められる学会又は研究会等が実施主体となつて行なう①研究者の海外研究集会への派遣、②国内での国際研究集会の開催及び③国内学会・研究集会時におけるセミナー等の開催に要する経費の一部に対して助成します。本年度は、平成 29 年度に募集し、平成 30 年度に助成を行った学会等事業の成果の報告を求め、「平成 30 年度食肉に関する助成研究成果報告書 Vol.37」に掲載します。

また、平成 30 年度に募集し、2 月 28 日の理事会で決議された学会等の事業に対して助成を行うとともに、令和 2 年度に実施される学会等の事業に関して、助成募集要領により募集を行います。

3 大型研究プロジェクト事業

畜産業及び食品産業の振興と国民食生活の安定に寄与することを目的とし、食肉の生産、処理、加工等に関して専門委員会の審議を経て、理事会において課題、研究者、資金等を決定し研究、調査を実施します。

本年度の研究課題は、昨年度に引き続き、「食肉の健康寿命及びその関連要因に与える影響」と「と畜解体処理(特に牛の背割り)の自動化・効率化に関する研究開発」とし、研究費は合わせて4,750万円とします。

また、課題及び研究成果については印刷物及びホームページ等で広く社会一般に公表します。

4 情報普及事業

- (1) 平成31年度(令和元年度)の研究助成事業の助成応募要項を、当財団のホームページに掲載するほか、国公立大学等に対する書面による掲示依頼、関係学会等のホームページ、機関誌等への掲載依頼等によって、公募の広報を行います。

また、平成30年度助成に係る研究又は調査の成果をとりまとめ、「平成30年度食肉に関する助成研究成果報告書VOL.37」に編集製本のうえ、研究者、都道府県、国立国会図書館、都道府県立図書館、国公立大学、同図書館等関係機関に対し無償で配付します。合わせてホームページでもPDFで閲覧できるようにします。

- (2) 伊藤記念財団賞授賞等事業についても、当財団のホームページに掲載するほか、各関係方面に募集要領を送付して申請を募ります。

また平成30年度の成果を上記の成果報告書に掲載するほか、ホームページでも閲覧できるようにします。

- (3) 伊藤傳三記念館(仮称)における展示事業の準備を行います。